

第5回 日本環境教育学会 東北支部大会
東北地区環境教育研究・活動発表会（オンライン）

プログラム

日時：2022年3月5日（土）10:00～17:15

方式：Zoomによるオンライン・ミーティング

主催：日本環境教育学会東北支部

共催：東北環境パートナーシップオフィス（EPO 東北）

9:50 入室開始

-----<開会セレモニー>司会：小野瀬剛志-----

10:00-10:15 開会あいさつ・説明

後藤 忍（日本環境教育学会東北支部長，福島大学）

小泉 照（東北環境パートナーシップオフィス）

中村 和彦（日本環境教育学会会長，東京大学）

-----<大会企画>司会：後藤忍-----

10:15-12:00 大会企画「3.11を伝える教育の現在（いま）」

武田 真一 氏（宮城教育大学3.11いのちを守る教育研修機構 特任教授，
3.11メモリアル・ネットワーク代表）

「10年経過で問われる「311に向き合う」機会の創出
～震災伝承の視点から～」

三井 俊介 氏（NPO法人SET理事長）

「人口が減るからこそ豊になる人づくり・町づくり・社会づくり
～岩手県陸前高田市広田町からの挑戦～」

日野 彰 氏（福島県双葉郡富岡町立富岡第一中学校三春校 教諭，
福島県教職員組合放射線教育対策委員会メンバー）

「人権の視点でとらえる「放射線教育」の実践」

12:00-13:00 昼休み

（12:30-12:50 日本環境教育学会東北支部総会）

-----<セッション1>司会：小野瀬剛志-----

13:00-13:15 ○平井 華代（岩手大学）

コロナ禍におけるフードパントリー型子ども食堂
～新たな「つながり」の構築と課題～

13:16-13:31 ○溝田浩二・佐藤みちる・高橋佑衣（宮城教育大学）

コロナ禍における園庭環境の見直し～宮城教育大学附属幼稚園の事例～

13:32-13:47 ○板橋 朋洋(秋田県立大学)
新型コロナウイルス(COVID-19)の流行が日本の人々の自然体験に
対する関心に与えた影響

13:47-14:00 (休憩, 時間調整)

-----<セッション 2> 司会: 溝田浩二-----

14:00-14:15 ○内田 弘(岩手大学)
沖縄県竹富町西表島エコツーリズム協会における「教育実践」の形成過程

14:16-14:31 ○小山献冬・山本新平・蒔田明史(秋田県立大学)
環境教育に対する園庭樹木の活用と管理の実態
～秋田県の幼稚園の事例から～

14:32-14:47 ○泉桂子・山口麗奈(岩手県立大学)
いわての森林づくり県民税による森林学習会の現段階
－12年間の振り返り－

14:47-15:00 (休憩, 時間調整)

-----<セッション 3> 司会: 比屋根哲-----

15:00-15:15 ○小番暉子・金澤伸浩(秋田県立大学)
スマート酪農を題材とした段階的な持続可能性教育

15:16-15:31 ○徳永 結香(けむやまみつじ主宰)
めん羊による遊休農地の活用と地域住民との交流の広がり

15:32-15:47 ○須藤 杏佳(仙台市八木山動物公園)
鳥が飛ぶ「フリーフライト」の紹介

15:48-16:03 ○斉藤 千映美(宮城教育大学)
教員養成課程における生命との関わりを通じた探究的な学びの試みと課題

16:03-16:15 (休憩, 時間調整)

-----<セッション 4> 司会: 蒔田明史-----

16:15-16:30 ○中口 毅博(芝浦工業大学)
宮城県・福島県におけるSDGsスタディーツアーの実践とその効果

16:31-16:46 ○古川直也・後藤忍(福島大学)
東京電力福島第一原子力発電所事故前後の原子力・放射線教材等に
関するパネル展の実施と来場者の認識に与える影響

16:47-17:02 ○佐藤由武・後藤忍(福島大学)
東日本大震災・福島第一原発事故による自然体験型環境教育への影響
～福島県・宮城県・栃木県での事例調査～

17:02-17:15 閉会セレモニー・諸連絡